

第4期千葉県がん対策推進計画ロジックモデル(試案)

1 予防・早期発見

(1) 予防

#	個別施策	アウトプット指標
1	喫煙(受動喫煙を含む)に関する知識の普及啓発	街頭キャンペーンの実施回数や参加者数等
		啓発物資の作成数や配布数等
2	喫煙者の禁煙を支援	研修の実施回数や参加者数等
		禁煙治療に関するリーフレットの作成枚数や配布枚数等
		禁煙指導者研修会開催回数や参加者数等
		禁煙治療に関する情報のホームページ等への掲載状況
3	20歳未満の喫煙防止	喫煙防止の啓発物作成数や配布数等
4	妊婦の喫煙(受動喫煙を含む)防止	啓発物資の作成数や配布数等
5	受動喫煙対策の推進	啓発物資の作成数や配布数等
6	適正な食生活を実施しやすい環境整備	健康ちば協力店の登録数
7	ライフステージに応じた適正な食生活を送るための普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
8	栄養職員等への適正な食の提供に関する研修の実施	研修会開催数や参加者数等
9	保健所等の管理栄養士等の資質の向上	研修会開催数や参加者数等
10	飲酒の健康影響等の普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
11	妊産婦の飲酒防止	啓発物資の作成数や配布数等
12	運動等の健康への影響や効果の発信	県民への発信状況
13	運動に親しむ環境の整備	地域のウォーキングマップやオリジナル体操等の周知状況
14	生活に応じた運動・身体活動量の増加を支援する人材の増加	研修会の開催回数や参加者数等
15	がんの予防の知識の普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
		イベント実施状況(実施回数や参加者数等)
		県民への発信状況
		乳がん触診模型の配置状況

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標 ※	データソース
20歳以上の者の喫煙率の減少	男性の喫煙率 女性の喫煙率	男 性: 21.9% 女 性: 6.9% (令和3年度)	男 性: 12.0% 女 性: 5.0%	生活習慣に関するアンケート調査
20歳未満の者の喫煙をなくす	15~19歳の喫煙率	男 性: 1.6% 女 性: 1.2% (令和3年度)	0%	生活習慣に関するアンケート調査
妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中の喫煙率	1.5% (令和3年度)	0%	妊娠届出時の聞き取り調査
望まない受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関: 2.1% 医療機関: 3.7% 職 場: 19.5% 家 庭: 5.0% 飲 食 店: 16.0% (令和3年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現	生活習慣に関するアンケート調査
食塩摂取量の減少(1日あたり)	男性平均摂取量 女性平均摂取量	男 性: 10.9g 女 性: 9.4g (平成27年度)	男 性: 7.5g 女 性: 6.5g	県民健康・栄養調査
野菜摂取量の増加(1日あたり)	野菜摂取量の平均値	308g (平成27年度)	350g	県民健康・栄養調査
果物摂取量の改善(1日あたり)	果物摂取量の平均値	—	200g	県民健康・栄養調査
生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少(1日当たりの純アルコール摂取量)	男性 40g以上の割合 女性 20g以上の割合	男 性: 13.5% 女 性: 9.4% (令和3年度)	男 性: 10.0% 女 性: 6.4%	生活習慣に関するアンケート調査

※第4期千葉県がん対策推進計画(計画期間:令和6年度から令和11年度まで)は「健康ちば21(第3次)」(計画期間:令和6年度から令和17年度まで)と整合性を図っています。計画期間が異なりますが、目標値は健康ちば21(第3次)と同様の値としています。

最終アウトカム	最終アウトカム指標	データソース
基本目標① がんの年齢調整死亡率減少	がんの年齢調整死亡率(75歳未満、全年齢)	人口動態統計
基本目標② がん患者とその家族が、がん向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる地域共生社会を目指す		患者体験調査

(2) 早期発見

#	個別施策	アウトプット指標
16	がん検診の必要性や重要性などがんに関する正しい知識の普及啓発	啓発イベント実施状況(実施回数や参加者数等)
17	科学的かつ効果的な受診勧奨の推進及び市町村への好事例の共有	市町村等がん検診担当者研修会の開催状況(開催回数、参加者数、実施テーマ等)
		受診勧奨実施市町村数
18	「職域におけるがん検診実施状況調査」を踏まえた受診率向上施策の検討	検討中
19	全国健康保険協会と市町村の連携による特定検診とがん検診の同時実施の普及に向けた連携体制の構築	特定検診とがん検診を同時実施する市町村数
20	県全体におけるがん検診の精度管理の向上	集団検診機関及び個別検診機関におけるがん検診精度管理調査において評価がAまたはBの機関数
		市町村におけるがん検診精度管理調査における実施率
		医師等を対象とした従事者研修会の実施状況(実施回数、参加者数)
21	国の指針に基づいたがん検診の実施を推進	指針に基づくがん検診を実施している市町村数
		指針に基づかないがん検診の中止市町村数

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
がん検診の受診率向上	胃がん(50~69歳)	49.8% (令和4年)	60%	国民生活基礎調査
	肺がん(40~69歳)	52.2% (令和4年)	60%	
	大腸がん(40~69歳)	46.2% (令和4年)	60%	
	乳がん(40~69歳、過去2年)	55.0% (令和4年)	60%	
	子宮頸がん(20~69歳、過去2年)	47.5% (令和4年)	60%	
精密検査受診率の向上	胃がん	85.2% (令和2年度)	90%	地域保健・健康増進事業報告
	肺がん	83.3% (令和2年度)	90%	
	大腸がん	67.3% (令和2年度)	90%	
	乳がん	91.7% (令和2年度)	90%	
	子宮頸がん	77.9% (令和2年度)	90%	

2 医療

(1) がん医療の充実

#	個別施策	アウトプット指標
22	がん診療連携拠点病院等を中心とした医療提供体制の推進	千葉県がん診療連携協議会開催数
23	手術療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
24	放射線療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
25	薬物療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
26	患者の状況に応じたチーム医療の推進	院内のチーム医療提供体制(現況報告書)
27	がんのリハビリテーション	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合(現況報告書)
28	支持療法	がん相談支援センターでのアピアランスケアの相談件数(現況報告書)
29	地域に移行した患者を支える医療圏単位の連携体制の構築	緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数(現況報告書)
30	がんゲノム医療提供体制づくりの検討	千葉県がん診療連携協議会がんゲノム医療専門部会開催数
31	緩和ケア研修の充実	緩和ケア研修会受講者数(医師・歯科医師、その他の職種)
32	相談や支援を受けられる体制の強化	拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケアチーム新規診療症例数(現況報告)
		拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケア外来患者数(院内・院外)(現況報告)
		拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケア病棟患者数(新入院患者数・死亡患者数)(現況報告)
33	拠点病院等における緩和ケア提供体制の充実	千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会開催数
34	(妊孕性温存療法の推進)がん・生殖医療に関する人材育成の推進	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点病院の割合
35	(妊孕性温存療法の推進)がん・生殖医療に関する相談支援体制の整備	相談支援センターにおける妊孕性に係る相談件数

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
がん診療連携拠点病院等における、がん医療の質向上	PDCAサイクル実施件数	16件(令和4年度)	増加する	千葉県がん診療連携協議会資料
がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医師数の増加	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を修了した医師数	拠点病院等: 4,340名 (令和5年3月までの累計) 拠点病院以外: 1,418名 (同上)	増加する	研修修了者数(医師・歯科医師)
がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医療従事者の増加	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を修了した医療従事者	1,874名 (令和5年3月までの累計)	増加する	研修修了者数(医師・歯科医師以外)
緩和ケアチームへの年間依頼件数の増加	緩和ケアチームへの年間依頼数	5,873件 (令和3年度)	増加する	千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会による調査、現況報告

(2) 希少がん・難治性がん

#	個別施策	アウトプット指標
36	患者やその家族の目線に立ったわかりやすい情報提供を推進	小児がん診療医療機関実態調査結果
37	専門家による適切な集学的治療が提供されるよう、他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができる体制を整備	妊孕性温存療法実施件数

(3) 小児がんおよびAYA世代のがん

#	個別施策	アウトプット指標
38	小児がんの対策	小児がん診療医療機関実態調査結果
39	AYA世代のがんの対策	妊孕性温存療法実施件数

(4) 高齢者のがん対策

#	個別施策	アウトプット指標
40	適切ながん医療を受けられるよう、地域の医療機関及び介護事業所と治療・緩和ケア・看取り等において連携体制の整備	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合

(5) 口腔ケアに関する医科歯科連携

#	個別施策	アウトプット指標
41	がん患者が継続した口腔ケアを受けるための医科歯科連携の取り組み	千葉県がん診療連携協議会口腔ケア専門部会開催数
42	口腔ケアの重要性についての普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
口腔ケアの地域医療連携	口腔ケアの地域医療連携を行っているがん診療連携拠点病院等の施設数	10病院 (令和4年度)	増加する	千葉県がん診療連携協議会資料

3 がんとの共生

(1) 相談・情報提供

#	個別施策	アウトプット指標	中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
43	がん相談支援センターの機能の充実	研修の受講者人数	がん相談支援センターの認知度向上	がん相談支援センターの認知度	集計中	増加する	千葉県がん対策に関するアンケート調査
44	がん相談支援センターの認知度向上及び利用促進	新規の相談件数	がん相談支援センターの相談件数の増加	がん相談支援センターの相談件数	22,049件 (R3.1.1~R3.12.31)	増加する	現況報告書
45	がん経験者等の参画による相談支援の充実	ピア・サポーターズサロンちばの開催回数 ピア・サポーターズ人数	がん相談支援センター利用者の満足度向上	がん相談支援センター利用者の満足度	集計中	増加する	千葉県がん対策に関するアンケート調査
46	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」の周知と充実	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の啓発回数、更新回数	ピア・サポーターの活動の場の拡大	サロン開催病院数	H30年度16箇所 (対面開催) R4年度24回 (リモートサロン)	拡大する	「ピア・サポーターズサロンちば」の開催実績
47	患者の生活を支援する情報の提供	「ちばがんナビ」の更新回数	「千葉県がん情報ちばがんナビ」の認知度の増加	「千葉県がん情報ちばがんナビ」の認知度	集計中	50%	千葉県がん対策に関するアンケート調査

(2) 地域緩和ケアの推進

#	個別施策	アウトプット指標	中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
48	地域の状況に応じた地域緩和ケアの提供体制の構築	拠点病院等1施設あたりの地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	住まいの場での死亡割合	住まいの場での死亡割合	28.5% (令和3年) 16.9% (令和元年)	維持する	千葉県衛生統計年報
49	地域緩和ケアに携わる医療・介護従事者の人材育成と連携強化	在宅緩和ケアに関する研修会 (千葉県がんセンター委託事業)	がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数の増加	がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数	136か所 (令和4年度)	増加する	緩和ケアに関する社会資源調査
50	在宅緩和ケアに関する情報提供、相談支援の充実	緩和ケアに関する社会資源調査	がん患者の看取り対応ができる訪問看護事業所数の増加	がん患者の看取り対応ができると回答した訪問看護事業所数	248か所 (令和4年度)	増加する	緩和ケアに関する社会資源調査
			がん患者の看取り対応ができる介護施設数の増加	がん患者の看取り対応ができると回答した介護施設数	467か所 (令和3年度)	増加する	緩和ケアに関する社会資源調査

(3) がん患者のサバイバーシップ支援

#	個別施策	アウトプット指標
51	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労支援	専門家による相談会の開催回数
52	「千葉県地域両立支援推進チーム」における取り組み	千葉県地域両立支援推進チーム協議会の参加数
53	就労支援・両立支援に関する周知	リーフレットの配布数
54	就労に関するニーズや課題についての実態調査	実態調査の実施数
55	千葉県がん患者アピアランスケア支援事業	市町村からの申請数

(4) ライフステージに応じた療養生活への支援

#	個別施策	アウトプット指標
56	医療・教育・就労・福祉全般に渡る相談支援・情報提供体制の整備	千葉県小児がん診療医療機関実態調査
57	小児がんにおけるピア・サポート活動	講演会参加者数
		交流会参加者数
58	長期フォローアップ体制の検討	千葉県がん診療連携協議会 小児がん専門部会開催数
59	若年がん末期がん患者への在宅療養支援	市町村からの申請数

4 がん診療を支える基盤の整備

(1)がん研究

#	個別施策	アウトプット指標
60	基礎研究・橋渡し研究	検討中
61	臨床研究(臨床試験・治験)の促進	検討中
62	がん予防のための疫学研究	検討中

(2)人材育成の強化

#	個別施策	アウトプット指標
63	拠点病院等におけるチーム医療を支援するため、専門職種ごとの研修を充実させ、多職種協働が可能な人材の育成	千葉県がん診療連携協議会教育専門部会開催数

(3)がん教育の推進

#	個別施策	アウトプット指標
64	がんに関する正しい知識、がん患者への理解を通じ、健康と命の大切さに対する認識を深めるためのがん教育を推進	外部講師派遣回数
65	事業者や商工団体等に対する従業員に長く働き続けてもらうために必要ながんに関する正しい知識の積極的な普及啓発	リーフレットの配布数

(4)がん登録

#	個別施策	アウトプット指標
66	全国がん登録の確実な運用	全国がん登録システムへの入力件数
67	全国がん登録の情報の活用	申請件数
		事業報告書の作成
68	院内がん登録の精度向上	院内がん登録実務者研修会の参加人数等
69	院内がん登録データの分析と公表	院内がん登録集計の公表

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
全国がん登録によるDCO率の減少	全国がん登録によるDCO率	1.6% (2019年)	減少する	全国がん罹患モニタリング集計
国の標準様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数の増加	国の標準様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数	41 (2021年)	増加する	千葉県がん診療連携協議会

(5)患者・市民参画の推進

#	個別施策	アウトプット指標
70	がん対策審議会及び部会において、患者団体の委員からの意見を聴取し、患者アンケート等により患者ニーズを把握し、施策に反映	患者アンケートの実施回数

(6)デジタル化の推進

#	個別施策	アウトプット指標
71	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の周知(3がんと共生)(1)相談・情報提供より再掲	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の啓発回数(3がんと共生)(1)相談・情報提供より再掲

(7)感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策

#	個別施策	アウトプット指標
72	感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担や各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進	BCPを策定している拠点病院等の割合